

君津中央病院広報誌

ク ロ ー バ ー



Vol. 18

2010年07月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



日本医療機能評価機構

認定第JC295-2号
審査体制区分4(ver.5.0)
2009.08.23~2014.08.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1、接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2、高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3、包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4、救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5、職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6、病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

病気のおはなし

小児科

◆ 子どもの発熱のはなし

子どもの異常の中で、一番多いのが発熱で、新米のお父さんお母さんが初めて経験するのも発熱が多いと思います。たくさんの情報がとびかっけて、混乱している人もいますので、ここで一度まとめておくのも良からうと思い、今回はこのテーマで書いてみましょう。

人間の体温を決めているのは脳の中の視床下部（ししょうかぶ）というところで、 $36^{\circ}\text{C}\sim 37^{\circ}\text{C}$ にセッティングされており、寒いときは身体を震わせて熱を作り、暑いときは汗をかいて汗が蒸発するときに熱を下げる、など自律神経が働いて平熱の範囲に保たれるようになっています。この体温調節中枢と自律神経のおかげで、大人ではこの平熱が狂ってしまうことはめったにありません。子どもの場合は、大人に比べて平熱が高めで $36.5^{\circ}\text{C}\sim 37.5^{\circ}\text{C}$ くらいです。1日のうちに $0.5\sim 1.0^{\circ}\text{C}$ くらい変動があり、明け方が低く、起床後から午後にかけて高くなります。保育所や幼稚園では 37°C 以上を発熱として、自宅にいるように指導されているようですが、 37°C ちょっとが平熱の子どももいます。また、高熱が出たり、体調を崩したあとは、一時的にセッティングが狂ってしまっていつもの平熱に戻らないことがあります。2週間くらい微熱が残ることがありますが、食欲があり、元気に活動しているようなら心配はないでしょう。また、自律神経がうまく働かないと、朝になって身体が活動しなければならないのに、低体温で元気が出ないこともあります。

かぜをひいて熱が出るのは、身体に侵入してきたウィルスや細菌を排除するために免疫が働いている証拠です。マクロファージという白血球の一種がサイトカインという物質を産生して、体温調節中枢へ指令が伝わり、体温のセットポイントを上昇させます。温度が高めの方が酵素の働きが高まるからです。身体を活性化して、外敵と戦っているのです。初めての敵（ウィルス）の場合は、3～4日かかりますが、以前に出会ったことがある相手なら、短い期間ですみます。戦い終って外敵を排除できると体温も平熱に戻ります。かぜの原因になるウィルスは種類が多く、一つ一つ経験をするしかありません。生後半年くらいからしょっちゅう熱を出していた子どもが年々熱を出さなくなり、小学校に上がる前にはほとんど熱を出さなくなるのは、毎年ウィルスとの戦いで経験を積み重ねた

おかげなのです。ですから、箱入りの状態で集団に入った子は、集団に入ったとたんに熱をくり返すようになります。でも経験が遅れても、大人になってまでしょっちゅう熱をくり返す人はほとんどいないと思います。

ウィルスの中にも強敵



がいて、命に関わることがありますが、幸いなことに（医師の）先輩たちが予防接種という形で防衛態勢を用意してくれています。積極的に受けておくとういでしょう。

かぜの薬はないと良く言われますが、一般にかぜ薬と呼ばれるものは、熱に対して解熱薬、咳に対して咳止め、鼻水に対して鼻水止め、とウィルスに直接やっつける薬ではないのです。薬を飲まなくても、自分の力で治っていただけるのです。また、かぜの時、良く処方される抗生物質は、細菌を抑えるもので、ウィルスには効果がありません。それでも処方されるのは、ウィルスと戦っている間に細菌が悪さを始めることがあるからです。かぜをひいて熱がでて、1～2日で熱が下がる場合は、抗生物質の力を借りなくても良いのです。水分がとれて、比較的元気なら、熱が続いてから抗生物質の投与を考えても良いので、はじめから使う必要はありません。やたらと抗生物質を使うと、抗生物質に鍛えられて抗生物質が効きにくい細菌（耐性菌）が出現すると言われています。MRSAはよく知られていますね。耐性菌が暴れ出すと、抗生物質が効きにくいので治療に苦勞することになります。細菌はできるだけそっとしておいた方がいざというときに戦いやすいわけです。

解熱剤に関しても、わざわざ身体を活性化して戦っているのに冷やしてしまっは、逆効果になりかねません。高熱で脳がやられると心配される人が多いのですが、 42°C 以上にならないければ熱だけで脳が傷害されることはないといわれています。熱が出て脳が傷害されるのは、脳炎・脳症や髄膜炎などの特別な病気の場合です。その場合は、熱以外にけいれんや意識が悪いなどの症状があるので、夜間や休日でも病院に受診した方が良いです。解熱剤は、熱が高くて水分がとれず、ぐったりしているときに使うことをすすめています。熱が少し下がって、水分がとれて、元気があれば、そのまま様子を見て良いと話しています。

最後に、例外をお話しておかなければなりません。生後3ヶ月以内の赤ちゃんです。この年齢の赤ちゃんは、母親の胎内で免疫の力を受け継いで、生まれて来るのでかぜをひいて熱を出すことは少ないのです。 38°C 以上の熱が出たら、かぜではない病気を考えなければなりません。発熱した赤ちゃんの3人に1人は細菌がとりつく病気で、放っておいては具合が悪くなるのです。多いのは尿路感染症ですが、中には細菌性髄膜炎のこともあり、重大な後遺症を残すことがありますので注意が必要です。最近、ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの話を聞くこともありますが、これらはこの恐い髄膜炎を予防するワクチンなのです。生後3ヶ月以内の赤ちゃんの発熱は救急受診が必要で、基本的には入院して検査し、病気が見つければそのまま治療することになっています。

（小児科 田島和幸）

病気のおはなし

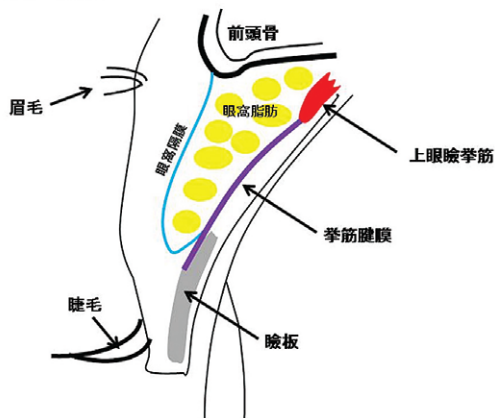
形成外科

けんまくせいがんけんかすい がんけんひふしかんしょう

◆ 腱膜性眼瞼下垂と眼瞼皮膚弛緩症

眼瞼下垂とは、上眼瞼が垂れ下がり目の開きが悪くなった状態をいいます。視界が妨げられるだけでなく、目を開こうと努力して眉毛を上げたり首を後ろに反らしたりするため肩こりを生じたり額の皺が増えたりすることがあります。原因は大きく先天性と後天性に分類されます。先天性眼瞼下垂の多くは眼瞼挙筋という瞼を持ち上げる筋肉の発育不全が原因とされます。後天性下垂にも様々な原因がありますが、最近注目されているのが腱膜性眼瞼下垂と呼ばれるものです。ごく軽度のものを含めると成人の半数以上に見られるという報告もあります。眼瞼挙筋は瞼の奥にあるのですが、睫毛に近づくにつれて挙筋腱膜という薄い膜状組織になり瞼板という組織に付着します。（図1）

図1 上眼瞼の断面図

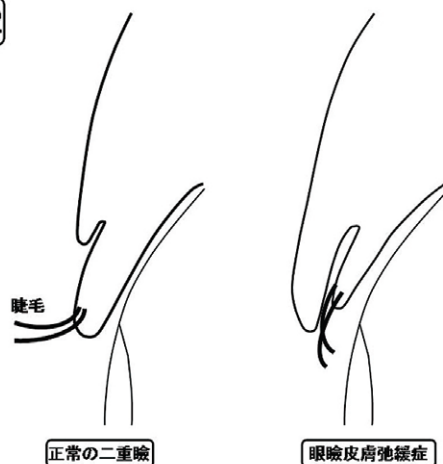


加齢による変化や機械的刺激（目を擦る癖、コンタクトレンズの使用など）などが原因で、この腱膜が薄く引き伸ばされたり、付着部から外れてしまうことにより筋肉の力がうまく伝わらなくなって下垂が生じるものです。治療法は手術になります。上眼瞼を開き、伸びた（或いは外れた）挙筋腱膜を適度な位置で瞼板に再固定します。通常は眼瞼挙筋の機能は正常ですのでこの操作で下垂が改善します。またあくまで副次的な効果ですが、肩こりや目の疲れなどの症状が改善することもあります。通常は両側性に発症するので片目の症状のみが強い場合でも両側の手術が必要になることがあります。術後

は2～3週間はそれなりの腫れと皮下出血などを生じます。完全にむくみが取れるまでには2～3ヶ月かかります。微妙な調整を要する手術ですので、術後の瞼の開き具合や二重の状態などに左右差を生じることもあり後日修正術を要することもあります。

もう一つ類似の症状を呈する病態に眼瞼皮膚弛緩症という疾患があります。これは文字通り、上瞼の皮膚が弛んで睫毛より下に垂れ下がり視界が妨げられる状態です。（図2）

図2



多くは加齢による変化で腱膜性眼瞼下垂を合併する場合もあります。手術では余分な皮膚を切除します。通常は元々の二重の位置に合わせて余剰な皮膚を切除します。ただ上眼瞼の皮膚は睫毛側が薄く眉毛に近づくにつれ厚くなっていますので切除幅が大きいと術後に厚ぼったい瞼になり不自然に見えることがあります。このような場合には眉毛の直下で皮膚切除を行う場合（眉毛下上眼瞼形成術）もありますし、腱膜性眼瞼下垂を合併する場合などは2つの方法を組み合わせる手術を行う場合もあります。

（形成外科 重原岳雄）



診療科紹介

放射線技術科

◆ すべてデジタル化に

写真には、フィルムを使用したアナログ方式と、画像をメモリーカードなどのメディアに記録するデジタル方式があります。当院で唯一、フィルムを暗室で現像処理していたアナログ方式のエックス線テレビ装置が、今年3月に更新されました。エックス線テレビ装置とは、バリウム検査などでお馴染みの装置です。腹部全体を透視できる大視野（17インチ）から拡大（9インチ）の視野を高解像度にてカバーし、消化管検査、腹部・泌尿器科検査など多目的検査に対応しています。1秒間に最大7.5コマの連続撮影ができ、タイミングが難しいとされた食道造影検査においては、バリウムが食道から胃に流れる様子を連続画像でとらえることが容易になりました。整形外科領域では、1回の撮影で全脊椎、全下肢の長尺撮影ができ、脊柱側湾症等の検査にも利用できます。また、寝台の高さが最低47cmと膝丈近くまで昇降し、ベッドから寝台へ段差のない移動が可能となりました。

当院で撮影した画像及び他院からの紹介患者さまの画像（CD等のDICOM※画像、エックス線フィルム）は、デジタル画像にて当院のサーバーに取り込み、各所のモニターで閲覧することができるようになりました。

このように当院の写真は、すべてデジタル化されましたので、他院からCD等のメディアにて患者さまを紹介される場合は、DICOM形式で書き込んでいただけますと幸いです。

（放射線技術科 小樽孝夫）

※DICOM…「ダイコム」と読み、デジタル処理された医療画像の形式と、それを扱う医療機器間の通信規約を定義した標準規格のことです。



歪みと繋ぎ目のない全脊椎画像



検査寝台

お知らせ

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

厚生労働省の通達により、当院では医療の透明化や患者さまへの情報提供を積極的に推進していく観点から、平成22年4月1日より領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行することといたしました。

明細書は、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称、及び傷病名に関連する名称等が記載されるものですので、その点について、ご理解ください。

なお、明細書の発行を希望されない方、患者さま本人以外(家族等)に渡すことに支障がある方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

（医事課）

看護局 ～検査・治療部門～

検査・治療部門は、地下のリニアック室、1階のレントゲン室、内視鏡室、超音波室、心エコー室、中央処置室、2階の外来化学療法室、血液浄化療法センター、人間ドックとなります。すべての方が安心して検査・治療が受けられるように、プライバシーの保護に努めながら、落ち着いた環境と看護サービスを提供することを心がけています。また、短い時間の中でも個々のニーズに合わせた看護を提供できるよう努力しています。

医師、放射線技師、検査技師、臨床工学技士、薬剤師、機能訓練士など多職種と協働し業務を遂行しています。

スタッフ40名は、医療チームの一員として、一人ひとりが責任ある行動をとり、他部門、他職種と連携を図りながら、良質で安全な医療・看護を提供できるよう努力しています。

何か心配なこと、わからないことなどありましたら、遠慮なくスタッフに声をかけてください。

(文責 山崎)



君津中央病院附属看護学校

オープンキャンパスのお知らせ

開催日 第1回 7月24日(土) 午後
第2回 8月1日(日) 午後

時間 12:30 受付
13:00 学校紹介
14:00 血圧測定・沐浴体験
老人体験・妊婦体験
ユニホーム試着体験
在校生との交流
16:30頃 解散



- 随時、進路相談を行います。
- 当日は、上履き、筆記用具を持参してください。

お問い合わせ・お申し込み

TEL 0438-36-1071 (代)
内線4850、4851



地域医療センター

地域医療センターは、『地域連携室』・『訪問看護室』・『医療福祉相談室』の3部門から構成され、君津中央病院が急性期医療を担う地域の中核病院としての使命を果たすため、保健・医療・福祉の連携を大切に、地域の皆様に信頼されるサービス提供の窓口としての役割を担っております。

今号は、地域連携室を紹介させていただきます。

地域連携だより ～地域連携室～

君津中央病院は、厚生労働省が進めている『地域医療連携』を、地域の急性期病院として推進しています。地域連携室は、『地域医療連携』推進の窓口として、地域の医療機関等との連携や地域の皆さまへのサービス提供を行っております。

■『地域医療連携』とは

地域には、いろいろな役割と機能をもった医療施設があります。それぞれの医療施設がお互い得意とするところを機能分担し、患者さまの症状や状況に応じた医療提供を地域全体で協力・連携して行う事が『地域医療連携』です。

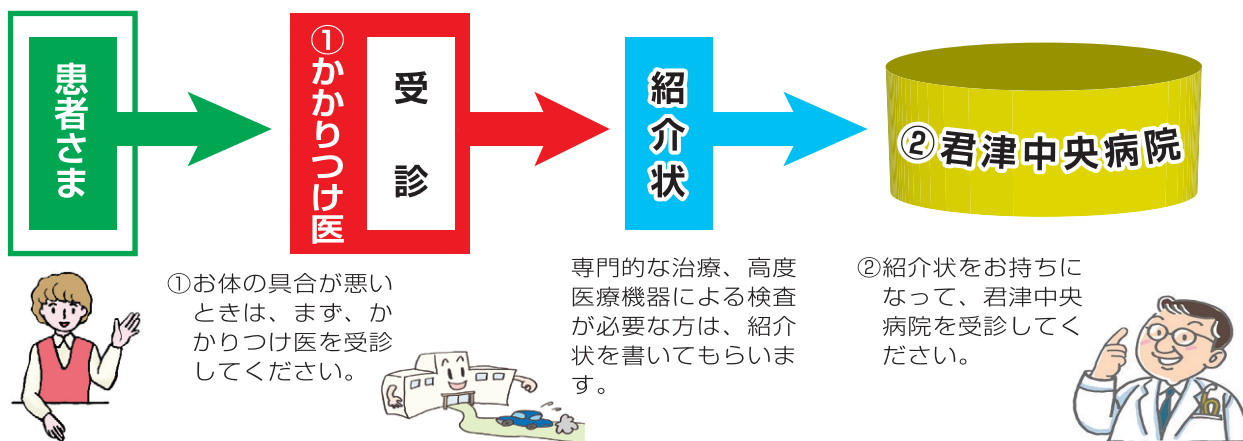
■上手な医療の受け方

お近くの『かかりつけ医』で日ごろの健康管理や初期治療を受け、必要に応じてかかりつけ医から君津中央病院を紹介してもらい、紹介状を頂いて専門的な検査や治療を受けてください。

なお、紹介状無く直接来院された患者さまは、初診料とは別に「初診時特定療養費」として2,100円（税込み）をご負担頂いております。是非、紹介状を『かかりつけ医』に書いて頂いてからの受診を、お勧め致します。

当院で症状が安定した後は、『かかりつけ医』でその後の治療を続けることをお勧めします。

君津中央病院を受診される場合は、次のようにご協力をお願い致します。



地域連携室では、紹介状をお持ちの患者さまの診療や検査の予約を行っております。診療予約待ち時間の短縮と患者さまが適切な診療科で安心して医療が受けられる様にお手伝いさせて頂いており、スムーズな受診ができるようにしていますので是非予約されることをお勧め致します。



岡 地域医療センター長（左側）
と、八木下 副センター長（右側）



予約は、私たちが担当しております。
どうぞよろしくお願い致します。

君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」活動紹介

君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」では、園芸・図書貸出、受診援助、ヘアカット、本の読み聞かせ、アロマセラピーなど、さまざまな活動を行っています。病院を利用するみなさまに「ひつじぐも」の活動を知っていただき、そして、有効に利用していただくために「ひつじぐも」の活動を紹介いたします。今号は、園芸・図書貸出グループの紹介です。

園芸・図書貸出グループは、毎週木曜日の午後2時から花の手入れと図書の無料貸出を2グループに分かれて行っています。

園 芸

園芸については、上総高等学校園芸科より寄付された花の手入れをしています。花がある場所は、1階正面玄関前のプランターや緑の丘、4階東病棟前や3階医局前のフラワーボックスなどです。これらを美しく保つことで、みなさまの心の癒しとなれば幸いです。



図 書 貸 出



図書の無料貸出は、4階の自動販売機コーナーにて午後2時から4時まで実施しています。本の種類はマンガ・小説・絵本などさまざまで、患者さまのご家族の方も借りることができます。貸出日数・冊数に制限はありません。本は職員からの寄付によるものであるため、リクエストにお応えすることはできませんが、これまでに寄付された本の延べ冊数は8,900冊を超えており、蔵書数には自信があります。ぜひご利用ください。

また、園芸・図書貸出グループでは一緒にお手伝いしていただける方を募集しています。興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問合せください。

【問合せ先】 白石（内線6624）
今後も「ひつじぐも」の活動を紹介していきます。

大佐和分院よりお知らせ

ドック受付中
0439-65-1251

乳がん個別検診のおしらせ

平成22年4月1日時点で40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になる女性を対象に、乳がん個別検診（乳房エックス線撮影のみ。問診、触診はございません）が実施されます。

当院は女性放射線技師が撮影を担当しますので、検診を初めて受けられる方でも安心して撮影を行うことができます。



予約制となりますので、受診の前に必ずご連絡をお願い致します。

【お問い合わせ】 0439 (65) 1251



マンモグラフィー

外来診察担当医表

平成22年4月1日

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	田中 庄司（涼）		田中 北湯口		北湯口 庄司（涼） 三浦		田中 桐谷	庄司（行）	田中 北湯口		
循環器科		山本・藤本・松戸 （交代）									予約制 心臓超音波検査のみ
神経内科									島田		
外科							朱				
整形外科			保住								予約制
皮膚科				稲福・小野 （交代）							
泌尿器科					稲原						予約制
眼科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		石渡・古山 （交代）		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間
午前 8:00～11:30
午後 12:00～15:00

診療開始時間
午前 9:00～
午後 13:30～

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251

病院機能評価の認定について

このたび、当院は日本医療機能評価機構より審査体制区分4（ver. 5.0）の認定を受けました。病院機能評価とは、病院の機能を専門的・学術的に中立的な第三者機関から評価してもらうことで、良質な病院医療の提供をしていることを第三者の目から認証してもらうものです。病院機能評価の受審は、医療の質の改善や向上を継続的にを行い、それが患者さまや地域住民のメリットに最終的にはつながることになります。これからも、良質で安全な医療を提供し、地域の皆さまに親しまれ、信頼される病院をめざして頑張っていきたいと思っております。

病院長 鈴木 紀彰